

# 建設の機械化

## 1994.2

No.528



◆巻頭言 変化に対応した整備……………岡 本 芳 郎 1

光波式土量検収装置による土量管理

——諫早湾干拓事業締切堤防の施工——

……………奥 田 透・平 松 誠 児 3

グラビヤ——光波収土量検収装置による土量管理

自走式連続れき破碎機の改良と施工 (ストーンクラッシャ CS 210)

……………村 岡 征 9

空気膜型枠 (エアドーム工法) を用いた PC ファームポンドの

ドーム屋根建設……………井手口 哲 朗 16

高層ビル総合機械化生産システムの開発

……………坂 本 成・丸 田 隆 明 22

ジェットグラウト専用機の開発

——削孔・引抜き・グラウトの一連の作業を1台で施工——

……………今 田 雅 俊 28

セグメントのボルト増締めロボットの開発

……………風 間 慶 三・東 出 明 宏・布 村 進 35

全断面ケーシング回転掘削機

……………植 田 政 明・嶋 井 森 幸・川 田 正 敏 39

◆ずいそう イギリスのゴルフ……………登 石 成 二 44

◆ずいそう 訪米派遣団に参加して……………江 川 雅 雄 46

平成5年度建設機械と施工法シンポジウム…………… 48



◆部会報告	
ISO/TC 127 エステスパーク国際会議報告	ISO部会 55
◆海外レポート	
国際トンネルシンポジウムに参加して	渡邊和夫 63
◆海外情報	66
◆新機種紹介	調査部会 68
◆文献調査 超音波センサ付舗装機械/指向性ボーリングマシン/ 連続的トンネル掘削機	文献調査委員会 75
◆整備技術 建設機械の重要保安部品の整備要領 (3) クラッチ・ブレーキ	整備部会 77
◆統計 建設工事受注額・建設機械受注額の推移	調査部会 81
行事一覧	83
編集後記	(森・塩山) 86

◇表紙写真説明◇

自走式クラッシャ  
オートモバール NC 420  
株式会社 中山鉄工所

本機は、アスファルト・コンクリート発生材をらくらく破碎する AC クラッシャを搭載した自走式リサイクル車である。現場への設置、退去は5分以内と起動性に優れ、騒音、振動も少ない。特長ある AC クラッシャはクラス最大口径 (1,050 mm×475 mm) で大塊

を破碎、路盤材 (40~0) として活用が容易である等、処理費用の大幅削減ができる。

＜本機の主な仕様＞

AC クラッシャ供給口寸法	開き 1,050×幅 475 (mm)
プレートフィーダ有効プレート寸法	幅 800×長さ 1,600 (mm)
最大供給塊寸法	厚 400×幅 800×長さ 1,000 (mm)
標準処理能力	60~130 t/hr
エンジン形式	ターボ付直接噴射式
エンジン定格出力	135 PS/2,050 rpm
総質量	31,000 kg